

大淀町が日本に誇る  
伝統・文化



平成13年吉野魅惑体験フェスティバルより



猿楽にゆかりの深い楡垣本八幡神社

ひがいらと  
楡垣本猿楽

後世へ伝えたい文化財産

猿楽とは、奈良時代に中国から伝来した「散楽」が発展したもので、鎌倉時代に歌舞劇としての「能」と台詞劇としての「狂言」に分かれ、明治時代になって「能楽」と呼ばれるようになりました。

大淀町の楡垣本には、ここを根拠地とした猿楽の一座があり、吉野を中心に活躍していました。町では、この「楡垣本猿楽」を後世に引き継いでいけるよう、「ちびっ子能楽体験」など様々な事業を展開しています。



ちびっ子楡垣本座

花岡大学

大淀町が生んだ童話作家

大淀町佐名伝にある浄迎寺の住職の次男として、明治42(1909)年に誕生。小学校の国語の教科書に取り上げられた「百羽のつる」や「清願寺のこどもたち」の他、仏教説話をもとにした「仏典童話」も多数創作しています。昭和63年に亡くなった後も、各社から復刻版が出されるほど人気が高く、宮沢賢治と並ぶ児童文学の開拓者として知られています。



花岡大学 (1909~1988年)



大阿太高原梨園に建立された花岡大学童話碑。代表作『百羽のつる』の一節が刻まれています。



花岡大学が手がけた童話絵本

歴史に彩られた季節の祭り  
年中行事

大淀町で行われている、  
祭りやイベントをご紹介します。



お太子さん (4月) 世尊寺の聖徳太子報恩大会式

世尊寺にゆかりの深い聖徳太子の命日(4月22日)に法要のために行われる祭りです。現在は4月29日の祭日に開催されています。大きなごく(お餅)を撒くことで有名で、これを奪い合うことから、別名「けんか祭り」とも呼ばれています。



水神祭 (7月)

五穀豊穡を願って、毎年7月に開催される下刈八幡神社の境内にある水神社の例祭。「お渡り式」としてご神体をお祀りした神輿と下刈各区の子どもたちが引く「子ども神輿」が、八幡神社から鈴ヶ森までの地区内を練り歩きます。



権現祭 (4月)

泉徳寺の今木権現堂で、毎年4月に開催。古くは全国の修験者が山門の金剛力士像に参拝したとされ、現在は護摩供餅撒などが行われています。



鮎供養 (6月)

鈴ヶ森行者堂で毎年6月、鮎の供養と川の安全を祈願する年中行事。生きた鮎を前に般若心経などを唱えて法要した後、吉野川へ放流します。

年間スケジュール

1月 大岩のとんど	6月 鈴ヶ森行者堂の鮎供養	10月 今木甲神社の秋祭り
3月 薬水八幡神社の毘沙門祭	7月 下刈八幡神社の水神祭	10月 岩壺の子ども相撲
3月 北六田の柳の渡し祭	7月 畝火山口神社の水取り神事	10月 佐名伝のお飯屋たて
4月 今木泉徳寺の権現祭	9月 馬佐の牛滝まつり	11月 上比曽のいのこ
4月 世尊寺の聖徳太子報恩大会式	10月 楡垣本八幡神社の十二ふり	12月 畑屋のカンジョウカケ

※詳しい日程については、町役場までお問い合わせください。